

議員定数等問題の調査研究報告

本年3月定例会において、議会運営委員会へ諮問され、6回の委員会開催と熊本県御船町・福岡県志免町への視察研修を実施。調査研修を進めるほどに難しい課題であると再認識させられた。当委員会では慎重なる審議を通して次のことを確認し、その答申の総合的判断の資料とした。

二元代表制における 議会の役割とは

(憲法93条第2項)

議事機関としての議会

監視機関としての議会

政策形成への関与

の主な3つの役割があげられる。

首長の暴走を抑えられる存在は議会であり、監視機能が強化された議会を維持することが役割の大きな柱と考えられる。予算議決権は議会にとって行政執行を監視する権限で、予算が大きくなればなるほど、審査には過大な負担がかかってくる。決算委員会においても同様である。

全国の流れは

全国の流れを見てみると、防府市や大阪府など一部の首長が大胆な定数の削減を提案しているところもある。定数の大幅削減は、絶大な人気を誇る首長が登場した場合「民主的な独裁」への道をも開きかねない。定数削減にばかりスポットをあてた議会改革論は、大きな危うさをはらんでいるのではなかろうか

と言う意見もある。

また、議会内からの提案や住民からの直接請求・請願などにより、議員定数を削減した議会が多いのも事実だ。

一方、熊本^{みぶねまち}県御船町などでは議会報告会、議会広報の毎月発行や通年議会の実施など議会活性化を推進することにより、住民から議員削減の声でなく励ましの声が聞こえるまでになったそうだ。北海道^{しらおい}白老町では、やる気のある若い人が議員になりたがらないとして、町長が特別職員報酬等審議会へ議員報酬の引き上げを諮問し、20万7千円から29万6千円へ、約9万円引き上げの答申がされた。答申を受けた^{しらおい}白老町長は

「厳しい意見もあろうと思うが、次の世代のために何をすべきかを考えた。10年後に理解される答申だと思う。」

との談話が載っていた。

町内の住民からは

「議員定数の削減」などについての意見も耳に入っている。新聞などの報道では、「議会の役割が見えず定数についての判断のしようがない」「議員の仕事の中身が見えない」などの内容の記事を見ることがある。議会広